

2020年4月20日

第12回 遺伝子組換え実験安全研修会の中止について

全国大学等遺伝子研究支援施設連絡協議会
代表幹事 田中伸和

日頃から、会員の皆さまには全国大学等遺伝子研究支援施設連絡協議会（大学遺伝子協）の活動にご協力いただきありがとうございます。

さて、昨年11月に千葉大学で開催しました総会でもお知らせしました、大学遺伝子協主催の第12回遺伝子組換え実験安全研修会についてです。今回は、神戸国際会議場で「遺伝子組換え実験を取り巻く最新の話題—新型コロナウイルス、ゲノム編集生物、など—」と題し、新型コロナウイルスやカルタヘナ法の対象外となるゲノム編集生物の取扱いをはじめ、最近の遺伝子組換え実験に関する諸問題について研修を行う予定でした。しかし、新型コロナウイルスの感染が急速に拡大し、全都道府県を対象に緊急事態宣言が出される状況となり、開催予定日の7月25日までに終息するか分かりません。特にこの研修会は、全国から100名以上の方々が集まり密閉された空間で長時間過ごす、いわゆる三密イベントの一種とも言えますので、会議場での対面での開催は控えるべきかと思われました。そこで、遠隔会議システムを使用した研修会の開催も検討しましたが、大学遺伝子協の幹事は各所属機関で新型コロナウイルス対策に追われており、初めての試みとなる遠隔会議システムの運用に対応できる状況にありません。

つきましては、残念ながら第12回遺伝子組換え安全研修会は中止とし、来年度に開催することといたします。

ゲノム編集生物の取扱いの最新情報などに期待されていた方が多くおられたと思いますが、このような状況ですので、なにとぞご理解ください。